

## ふじのくに地球環境史ミュージアム整備課大谷分室への移転 事務局



清水分室 3階からリフトで荷物を下ろす

7月末に、これまで標本整理などを行っていた静岡県自然学習資料センター（ふじのくに地球環境史ミュージアム整備課清水分室）から大谷分室（旧静岡南高校）に引越を行いました。

当 NPO は、4月から引越準備の整理を始め、6月から標本等の梱包作業を行ってきました。また7月末の引越期間中は、県の担当者とともに、資料センターと大谷分室で、引越業者の方に、搬出・搬入先等の指示を行いました。

引越は、7月24日から始まり、まず資料センター1階の岩石・化石標本、25日には魚類標本の搬出が行われ、同時に大谷分室で使用する予定の標本棚等の什器の分解と大谷分室での設置が行われました。そして、次の週の28日には主に2階の植物標本・貝類標本等が、29日には NPO 事務室やガレージの道具類や未整理の化石標本などの搬出が行われました。30日には、3階の昆虫標本等が、31日には、主に図書類や精密機器、重量物などの搬出が行われ、この日でほぼ引越作業は終了し、資料センターはほとんど空の状態になりました。その後、8月1日は資料センターの各部屋の確認や、各自で個々の荷物などの搬出が行わ



大谷分室に標本を搬入



新しい魚類標本室に標本が運び込まれる様子

れました。この日で平成19年から7年間、標本の保存場所として、また当 NPO の活動の中心となっていた資料センターは、その役割を終えることになりました。今後、資料センターは建物を壊し、さら地となるとのことです。

こうして1週間余りの引越は、ほぼ行程通り順調に進み、無事終了することができました。この引越作業では、東海大学の博物館実習生ほか、たくさんの方にご協力いただきました。

引越の終了後、8月4日からは大谷分室にて標本等の荷解きや標本等の配置などの整理作業が始まりました。整理作業を始めたころは、電話線などの設備が整っていませんでしたが、現在では電話やインターネットが使えるようになり、もうだいぶ各標本室の整理が進み、通常の仕事ができる体制ができつつあります。これからは、これまで行ってきた標本整理・保存事業や活用事業を行いながら、県職員の方々とともに、博物館としての環境を整えていきたいと思っております。